

「#(ハッシュタグ)」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。大分県内の農林水産業の中から選りすぐった旬の話題を大分県拠点からお届けします。

## みどりの食料システム戦略の大分バージョン



### # 「大分☆農・カーボンプロジェクト」を展開中です！

農林水産省が今年5月に公表した「みどりの食料システム戦略」（以下、文中では「みどり戦略」と略します。）について、大分県拠点では様々な方々へ説明に伺い、貴重な意見をいただいているところです。大分県拠点ではそれにとどまらず、「では、大分で今、何ができるの？」に関して意見交換を行い、学ぶ場になるプラットフォームを「大分☆農・カーボンプロジェクト」（裏面参照）と銘打ち立ち上げました。様々な意見交換等の際に提案したところ多くの応援の声をいただいています。

以下、意見交換やイベントなどの一部をご紹介します。



10/27 消費者団体との意見交換  
では「生産者にも有機農産物の販路拡大の支援があれば取り組みやすくなるのではないか」といった意見も寄せられました。



10/7 佐伯市長（左）  
「佐伯市では「オーガニックシティ佐伯」として独自の取組を始めた。国の長期的、計画的な後押しは心強い」



10/22 竹田市長（右）  
「環境への負荷軽減は必要だが、例えば生分解性マルチは高価であり、コスト面が課題」

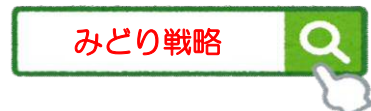


10/21 マスコミとの意見交換会（農政懇話会）では、今後のプロジェクトの様々な取組の発信に是非協力いただきたい旨をお願いしました。



10/16～17 別府市で開催された「大分県農林水産祭」では九州農政局ブースを出展しました。クイズ形式で環境問題と農業の関係について多くの来場者に考えていただいたり、スマート農業が環境負荷軽減につながることを伝えるため展示した農業用ドローンは多くの皆さんの関心を引いていました。

「みどりの食料システム戦略」  
については ⇒

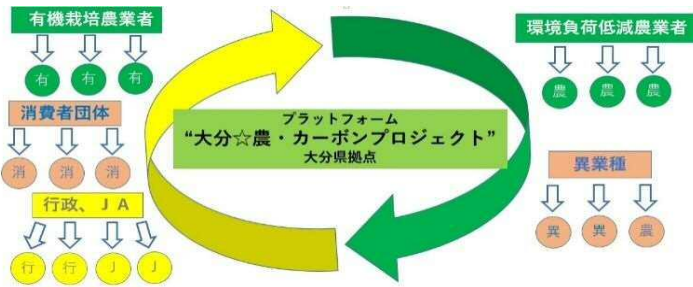


## # 大分☆農・カーボンプロジェクトとは？

大分県で「みどり戦略」を推進するため、プラットフォームとして「大分☆農・カーボンプロジェクト」を立ち上げました。プラットフォームには多様な人たちに声をかけ、県拠点が把握している有機農業や環境負荷低減の事例を紹介していく予定です。

キーワードは「気付き」です。先進的な事例を実践している農業者に自らの取組を他の生産者に紹介して気付きを与えていただく、そして先進事例の生産者自身にも「みどり戦略」を念頭に置くことで更に生産意識が向上し、新たなチャレンジが広がることに気付いていただく、プラットフォームはそういった場になることを目指します。

このプラットフォームでは農林水産業だけでなく異業種、消費者団体、行政にも、そういった気付きが広がることで、「みどり戦略」推進の広がりを図っていきたいと考えています。



### 大分☆農・カーボンプロジェクト

(農林水産業におけるカーボンニュートラルの取組)

応援いただいている皆様  
(令和3年10月現在・順不同)

- ・JAグループ大分 様
- ・九州電力株式会社 大分支店 様
- ・九州林産株式会社 様
- ・ニシム電子工業株式会社 様
- ・株式会社 SamiSamiラボ 様
- ・日本政策金融公庫大分支店 様
- ・恒松 敬章 様
- ・国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会会長 林 浩昭 様
- ・NPO法人 おおいた有機農業研究会 様
- ・株式会社 ohana本舗 様
- ・さわ農園 様

## # 令和4年度農林水産予算概算要求事項に対して

### 貴重なご意見ありがとうございました！

大分県拠点では、農林水産省が8月31日に公表しました令和4年度農林水産関係予算概算要求の概要について、大分県をはじめ県内の行政機関、JAをはじめ生産者団体、生産者、事業者の皆様説明を行っています。説明の際にいただいた貴重なご意見は、九州農政局を通じて農林水産本省につないでおります。県内の関係機関への説明はまだ継続していますが、12月の概算決定後に改めてその内容について説明に伺う予定ですのでよろしくお願い致します。

「令和4年度農林水産予算概算要求」については →



耕作放棄地解消！ 輸入に頼らない飼料増産！

## # さとうきび&チモシープロジェクト続報

昨年から栽培を始めたチモシーは、今年は9月7日に久住高原農業高校の圃場に高校生の手によって昨年の2倍となる20aに作付けられました。今後は来年の出荷に向けて雑草抑制などの研究栽培を続けます。

また、別府市ほかで昨年から作付けているさとうきびも順調に生育しており、9月に初出荷、その後象の食べるペースに合わせて出荷しています。今後は霜の降りる前に収穫・出荷を終える予定です。



10月初めのさとうきび畑の様子

## # オリーブの収穫が最盛期を迎えています！（国東市）



国東市は新たな特産品としてオリーブの生産を推進しており、収穫作業が最盛期を迎えています。約20haのオリーブを栽培する「国東クリーブガーデン」では、早朝から手作業で摘み取った実を、その日のうちに選別・搾油してオリーブオイルにしています。



本紙掲載の記事は大分県拠点のHPでもご覧いただけます。↓

【発行元】九州農政局大分県拠点地方参事官室

【連絡先】〒870-0047 大分市中島西1-2-28 TEL 097-532-6131

大分県 地域農政

